	M	inami	Kyusl	nu Univ	ersit	. y	Syllabu	 S				
シラバス年度	2025年度	25年度 開講キャンパス		宮崎キャンパス			開設学科		管理栄養学科			
科目名称	管理栄養士演習	I		-	-			授業	羊形態	演習		
科目コード	306100	単位数	1単位	配当学年	3		実務経験教	.員		アクティブ ラーニング	0	
担当教員名	木村 志緒			-						ICT活 用	0	
授業概要	(1) 15回分を木村が担当する。 (2) 「社会・環境と健康」分野の模試過去問を学習する(毎回12問)。 管理栄養士国家試験に合格するには200間中120間に正答することが必要である。 そのうち、「社会・環境と健康」分野について16間出題されるので、10問程度正答する必要がある。 (言い検えれば、16間すべてを正解する必要がないともいえる。) 模試問題では、国試に類似しており必ずおさえておきたい問題や深堀する必要性の低い問題など様々なレベルの問題が混在しているので、16間中の12間を教員が厳選し、それらについて理解を深めることによって模試でコンスタントに10点程度正答できる力を身に付けられることを目指し解説を行っていく。											
関連する科目	公衆衛生学、健康	東管理概論	と関連するので	で、苦手意識がある	る人や単位	未取得	の人は積極的に受	き講する	ことが望	ましい。		
授業の進め方 と方法	第2回~第8回の進め方 ①教員の模試問題解説をきく(スライドは必要であれば、時間を取りますのでスマホ等で撮影してください) ②翌週分の問題配布 ③まとめ資料を見たり、周囲と意見交換しながら解き、回答番号をユニパで送信 ④送信後、退出可 第9~15回の進め方 ①教員の模試問題解説をきく(スライドは必要であれば、時間を取りますのでスマホ等で撮影してください) ②翌週分の問題配布 ③何も見ずに解き、回答番号をユニパで送信(国試を想定して20分以内で解くこと)											
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 授業概要、授業計画、評価方法等について理解する。 翌週分の問題に取り組む。											
授業計画 【第2回】	模試問題 1 問題例:1次・2次・3次予防の違いを理解しているか?											
授業計画 【第3回】	模試問題 2 問題例: SDGsについて理解しているか?											
授業計画 【第4回】	模試問題3 問題例:労働衛生の3管理を理解しているか?											
授業計画 【第5回】	模試問題4 問題例:ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの違いを理解しているか?											
授業計画 【第6回】	模試問題5 問題例:日本国憲法25条を理解しているか?											
授業計画 【第7回】	模試問題6 問題例:バンコク憲章を理解しているか?											
授業計画 【第8回】	模試問題7 問題例:WHOについて理解しているか?											
授業計画 【第9回】	模試問題8 問題例:プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの違いを理解しているか?											
授業計画 【第10回】	模試問題9 問題例:ジョン	ス・スノウ	の功績を理解し	しているか?								

授業計画 【第11回】	模試問題10 問題例:早期新生児死亡、新生児死亡、乳児死亡の定義を理解しているか?					
授業計画 【第12回】	模試問題11 問題例:介護保険制度の財源を理解しているか?					
授業計画 【第13回】	模試問題12 問題例::WHOが提唱しているユニバーサルヘルスカバレッジを理解しているか?					
授業計画 【第14回】	模試問題13 問題例: 就学時健康診断の実施時期や実施主体を理解しているか?					
授業計画 【第15回】	模試問題14 問題例:健康増進法に基づき市町村が実施する健康増進事業を理解しているか?					
授業の到達目標	①模擬試験の社会分野でコンスタントに5割以上正答できるよう力を身に付ける【知識・理解を応用し活用する能力】 ②課題提出の期限を守れるようスケジュール管理力を身に付ける【自らを律して行動できる力】 ③社会人となった時、管理栄養士として他者と連携し、協調・協働して行動できる力を身に付ける【協調・協働力】					
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)					
授業時間外学習【予習】	学習時間:20~40分程度 翌週分の問題について、まとめ資料を見たり、周囲の人と意見交換しながら解き、回答番号をユニパに送信する。					
授業時間外学習【復習】	学習時間:20~40分程度 国家試験に向けて長期的に知識を定着させるための資料を作成したり、反復学習したりする。					
課題に対する フィードバック	問題解説をスライドを用いて行う。 スライドは必要であれば適宜、撮影可。					
評価方法・基準	以下の項目について相対的かつ総合的に評価する (1) 何も見ずに解いた回答番号による正答率・・・7割(6回分) (2) まとめ資料を見たり、周囲と意見交換しながら解いた回答番号による正答率・・・3割(14回分)					
テキスト	特に指定しない。					
参考書	特に指定しない。					
備考						